

令和4年度事業報告

1. 受託事業（福井県から）

事業名	仕様(回数・期日)	内容
広報誌 「あっとほうむ」 の作成	年3回発行 6頁カラー4色刷 (夏号No217) 109,000部 (冬号No218) 255,000部 (春号No219) 109,000部	217・218・219号を発行。国の「今後の原子力政策の方向性と行動指針(案)」の決定、国の原子力小委員会の開催、国の原子力総合防災訓練の実施、「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」の開催、県安全専門委員会の開催、原子力の諸課題に関する県の対応や事業者の取り組み状況、県内原子力発電所の運転状況、発電所周辺の放射能調査結果等を分かりやすく解説した。 原子力発電所立地および周辺10市町の全世帯に配布するとともに、嶺北市町へは新聞折り込み及びポスティングによる各戸配布を1回、町内回覧を2回行った。さらに県内の学校や公民館・関係機関にも送付したほか、各号の点字版と音声版を作成し、目の不自由な人たちにも配布した。また、スマートフォン用アプリからも配信した。
福島原発事故関連 情報コーナーの更新	通年	福島第一原子力発電所事故の概要や経過、県内各原子力発電所の安全性向上対策の状況などについて、情報を随時更新した。
放射線体験教室・ 原子力講座等 の開催 (一般対象)	137回実施 館内教室60回 出張教室25回 原子力講座52回	広く県民に放射線の基礎知識を正しく理解してもらうため、放射線体験教室を館内で60回、出張で25回開催した。出張の対象別内訳は、公民館8回、児童館3回、子供会5回、福祉施設6回、その他の公共施設3回。地域別では、福井地区4回、坂井地区1回、丹南地区13回、嶺南地区7回。参加者は館内教室が11,436人、出張教室が604人、合計12,040人。原子力講座を館内で52回開催、参加者は9,080人。
放射線体験教室等 の開催 (学校対象)	36回実施 館内教室21回 出張教室15回	県内の小中高等学校を対象に、放射線体験教室を館内で21回、出張で15回開催した。基礎知識セミナーや霧箱装置等を使った放射線の観察、測定器を使った自然放射線の測定体験などを実施した。出張の地域別は、福井地区6回、丹南地区7回、嶺南地区2回。参加者は館内教室が1,118人、出張教室が474人、合計1,592人。
講演会等の開催	10/29	(公財)地球環境産業技術研究機構システム研究グループの秋元圭吾氏による「これからの日本はどうなる？エネルギーについて一緒に考えよう～世界情勢を踏まえて～」と題した講演会を福井市と越前市で実施。敦賀会場では丹南会場の様子をオンラインで中継した。また後日オンデマンド配信も実施した。参加者は合計124人。 1) 10:00～11:30 (福井会場：福井フェニックスプラザ、36人参加) 2) 13:30～15:00 (丹南会場：武生商工会議所、42人参加) 3) 13:30～15:00 (敦賀会場：原子力の科学館「あっとほうむ」46人参加)
科学実験教室・ 工作教室の開催	249回実施 館内教室224回 出張教室25回	県内の公民館等に出向いたり、当センターに来館した児童や生徒に対して、科学実験教室等を249回開催した。出張の対象別内訳は、公民館8回、児童館6回、子供会1回、保育園・幼稚園1回、その他公共施設8回、福祉施設1回。地域別では、福井地区5回、坂井地区3回、丹南地区4回、嶺南地区13回。参加者は館内教室が21,624人、出張教室が779人、合計22,403人。
エネルギー 学習教室の開催	229回実施 館内教室159回 出張教室70回	エネルギーについて正しく理解してもらうため、再生可能エネルギーに関する実験等を通して学習する発電キット工作や体験教室、クイズ、プログラミング教室を館内で159回、出張で70回開催した。出張の対象別内訳は、学校6回、公民館10回、児童館49回、公共施設5回。地域別では、福井地区10回、奥越地区4回、坂井地区7回、丹南地区12回、嶺南地区37回。参加者は館内教室が16,827人、出張教室が993人、合計17,820人。
エネルギー 体験教室の開催 (学校対象)	116回実施 館内教室47回 出張教室69回	県内の小中高等学校を対象に、いろいろな発電模型などを使ったエネルギー体験教室を館内で47回、出張で69回開催した。出張の対象別内訳は小学校63回、中学校2回、特別支援学校4回。地域別では、福井地区22回、坂井地区9回、丹南地区14回、嶺南地区24回。参加者は館内教室が2,450人、出張教室が2,580人、合計5,030人。

エネルギー 学習バスの実施 (学校対象)	37件実施 (69台)	当センターと県内エネルギー関連施設を見学した県内の小中高等学校に対しバス借上げ料金の一部を補助した。対象別内訳は、小学校31件、中学校4件、高校2件。地域別では、福井地区3件、坂井地区2回、奥越地区5件、丹南地区17件、嶺南地区10件。参加者は合計2,116人。
放射線&エネルギー クイズラリーの実施	103回実施	親子を対象に、放射線やエネルギーの基礎知識を学んでもらうクイズラリーを、館内で開催のイベント時に実施した。参加者は合計14,875人。
サイエンスパーク の開催	30回実施	LEDライトや豆電球等を使った電子工作教室や、自由研究教室等を夏休み期間中に実施した。参加者は合計3,357人。
インターネット による情報発信	随時	ホームページで、県内の原子力情報や事業案内を随時更新し提供した。また新規の広報誌や冊子、映像などを掲載した。

2. 自主事業

事業名	仕様(回数・期日)	内 容
オンライン エネルギー教室の開催	4回実施	県内の小学生を対象に、放射線の基礎知識セミナーとオリジナル工作キットを使ったエネルギー教室をオンラインで4回実施した。参加人数は87人。申込者多数(計134人)のため、抽選を実施。
エネルギーカルチャー講座 の開催	3回実施	大人を対象に、原子力講演会後にエネルギー・カルチャー教室を対面形式で3回実施した。参加者は合計78人。 1) 11:45~12:30 (内容:廃材ガラスで描くオナメント、21人参加) 2) 15:15~16:30 (内容:多肉植物でSDGs、37人参加) 3) 15:15~16:30 (内容:新感覚の書道「己書」、20人参加)
放射線基礎知識 映像の制作	2本	中・高校生を対象に、放射線の基礎知識について映像を制作した。
原子力基礎知識 普及事業	4,000部	原子力の基礎知識を掲載したオリジナルグッズを製作し、来館者に配布した。
原子力情報 ステーションの開催	3回実施	県内原子力発電所の廃止措置や運転期間延長等に関する基礎知識の解説パネルや写真の展示、電力事業者の安全対策や県の取り組み状況などを解説する企画展を開催した。
GWイベント の開催	4/29~5/1 5/3~5/5	ゴールデンウィーク期間に、エネルギーなどについて親子で体験学習してもらうイベントを開催した。参加者は合計12,317人。
夏休み体験教室 の開催	7/16~7/18 7/23~8/21 土・日・祝	エネルギーや電気、放射線などについて親子で体験学習してもらう教室を開催した。参加者は合計16,498人。
こどもの広場 の開催	10/8	電気事業者との共催でエネルギー体験イベント「こどもの広場」を開催し、エネルギークイズラリーやスペシャル実験ショーなどを開催した。参加者は1,889人。
スペシャルデー イベントの開催	3回実施	館内で科学の体験学習スペシャルデーイベントを実施した。 ① 6月18・19日に「ワグサイエンス」をテーマに開催、6,510人参加 ② 9月17~19日に「チャレンジサイエンス」をテーマに開催、5,329人参加 ③ 10月9・10日に「えれめんとサイエンス」をテーマに開催、4,123人参加
SNSサイエンス 情報配信事業	通年	FacebookやInstagramなどSNSを利用して、科学に関するミニ情報や原子力・放射線の基礎知識、来館者情報などを毎週配信した。
あっとつうしん の作成配布	A2判 年3回発行 1,000部	福井県海浜自然センター、嶺南ケーブルネットワーク等を取りあげ科学に関する知識を盛り込んでわかりやすく解説するポスターを発行し、学校や公民館等に掲示した。
各種広報機関および科学館との連絡会 の開催	2回実施	県内4立地市町と4電気事業者の原子力広報担当者との連絡会を開催し事業運営等の連携を深めた。また、全国科学館連携協議会主催のオンライン研修会に参加した。